



日本からの援助物資



青年海外協力隊・佐藤健太の

ZIKOMO... マラウイ語で「どうも」の意味



外国から届くたくさんの援助物資を前にして、彼らは何を思うのか

「援助は、当たり前？」
 現在マラウイ共和国には、多くの外国や国際機関からの援助が行われています。もちろん援助をまったく受けずに頑張っている人もいますが、一方で援助を受けるのは、決まって同じような人であることが現実としてあります。その結果、度重なる援助によって、彼らは、物を大切にすることを忘れてしまっているような気がします。

何かをもらっても、ありがたい」と言わない子ども。外人のボランティアを見て「何をくれるんだい」と言ったり前の義務として行っている

「無関心」から「関心」へ
 ある隊員が任期を終えて日本へ帰るとき、一緒に働いていた現地と同様に、「日本へ帰ってから何かしてほしい」とあるか」と尋ねたそうです。そのとき彼女の口から出た言葉は、「何もしてほしくない」ということ。けれど私たちがいるような生活、悩みを持ってほしい」という一言でした。

以前の僕は、TVのニュースで遠い異国の地、アフリカ

の話題が出ようと、箸を止めることもなく、「やっぱりトコは最高だなぁ〜」などと思いつつ意識は完全に食卓に向けられていたこと。しかし、少なくともこのマラウイで二年間を過ごし、任期終了して帰国した後は、ほんの数秒しか流れないアフリカの映像を、きつと意識をもつて見入るようになってきました。

多くの人は本や映像、あるいは他人の体験談から、途上国のことを知り、自分には何かできることはないだろうかと考えます。確かに、何かをしてあげることや、実際に現地へ赴き活動することは大切であると思います。けれども、それらができる人は、僕自身も含め、恵まれた環境にあり、幸せであると感じています。それよりも、まずは、みんなが関心を持つことが大切なのだと思います。

人は、誰かに好かれればうれしくなり、嫌われれば悲しくなります。けれども、最も悲しいことは誰にも何の感情も抱かれず、『無関心』でいられることではないでしょうか。

約一年にわたり、この『ZIKOMO通信』を読んで



佐藤健太さんは、任期終了の平成19年11月末まで、アフリカのマラウイ共和国で青年海外協力隊活動を続けた後、伊豆の国市に『帰国』する予定です。

最終回

いずのくにの女ひと

伊豆の国市内に住む、働く、または縁のある、輝いてる女性たち。最終回は、伊豆の国観光協会にお勤めの、笠松奈央さんをご紹介します。



笠松 奈央さん(伊豆の国観光協会)
好きな言葉は「粒粒辛苦(こつこつと努力を重ねること)」。市内お気に入りのスポットは大仁梅林。趣味はお菓子やピーズ作り。

私の家からは、富士山がよく見えるんです。そういうところで育ったので、高校生ころから、多くの人に伊豆へ来て、この景色を見てもらいたいと思っていました」という奈央さん。進学した短大では商経学科・観光ビジネスコースを専攻しました。卒業時には観光の就職先がなく、一年半ほど医療事務の仕事をしていましたが、昨年九月、ついに夢が叶い、伊豆の国観光協会に働くことになったのです。

一週間のほとんどを、伊豆洋らんパーク敷地内の大仁観光案内センターで勤務する奈央さん。ここは、『道の駅』でもあるので、多くの観光客が休憩や情報収集に立ち寄ります。奈央さんに、勤めてから

半年経った今の心境を聞いてみました。「初めのころは観光情報も、道案内も何も分からず、協会事務所(アкус)ばかりに頼っていました。でも、少しずつ勉強して、最近は答えられるようになってきたと思います。もちろん、インターネットや情報誌の助けは借りてますけど笑」。

奈央さんがやりがいを感じるのには、やはりお客さんから感謝されたとき。「観光案内をしたお客様に、『分かりやすく教えてくれて、ありがとう』と言われたときは、本当に嬉しかったです」。

平日はもっぱら観光案内ですが、週末はイベント会場でも奮闘します。この半年間、『パン祖のパン祭り』



大仁観光案内センター勤務。「ここにも気軽に遊びに来てくださいね」

ではパンを販売、『おおひと梅まつり』では梅お散歩ラリーの受け付け、他のイベントでも多くの雑用をこなして来ました。「やることすべてが初体験。たくさんの人に助けていただいで、日々勉強しています」と、とても謙虚な奈央さん。

そんな彼女が今担当しているのが、『狩野川桜まつり』。イベントは三月末に終わりましたが、四月七日(土)まではライトアップします。ぜひ足を運んでください。

最後に、市民の皆さんに一言。「地元のお祭りやイベントに参加してみると、今まで知らなかった意外な情報や、見えなかった地元の良さを発見できます。ぜひ一度、観光イベントにお越しください。週末はみんなで奈央さんに会いに行きましょう」。

表紙・桜の名所クイズの答え(カッコ内は地区名・花の見頃)

狩野川さくら公園・昼(中條・例年3月末~4月上旬)	狩野川リバーサイドパーク(天野・例年3月末~4月上旬)
狩野川堤防の河津桜並木(神島・例年1月末~2月末)	江間いちご狩りセンター付近(北江間・例年3月末~4月上旬)
大仁中学校付近(三福・例年3月末~4月上旬)	狩野川さくら公園・夜のライトアップ(開花時の約1週間)
葦山反射炉(中・例年3月末~4月上旬)	MOA大仁農場のともえ桜(浮橋・例年4月中旬~4月末)
狩野川放水路・珍野橋付近(南江間・例年3月末~4月上旬)	龍源院のシダレザクラ(三福・例年3月中旬~3月下旬)

皆さんは何カ所分かりましたか?この他にも隠れた名所をご存知でしたら、ぜひ広報担当までお知らせください。

くださった市民の皆さん。今まで知らなかった『無関心』であった、マラウイという国に少しでも関心を持っていただいたことに心より感謝申し上げます。

遠いアフリカの地より愛を込めて、『ZIKOMO』。(おわり)